

イバラモ		<i>Najas marina</i> L.	絶滅危惧I類
		イバラモ科	
選定理由	生育地が限定されており、大部分の生育地で個体数の減少が著しいため。	写真(清水英彦) 標本 	
形態の特徴	葉は線形で幅1mm以上、明瞭な大きな鋸歯が4対以上あり、長さ20-35mm。葉鞘の先は切形で鋸歯はない。県内のイバラモ属の中では、葉の形状が明らかに多種と異なるので区別しやすい。花期は7-9月。果実は楕円体で葉腋に1個付く。		
生態的特徴	湖沼、溜池、稀に河川や水路にも生育する沈水性の一年草。		
分布状況	北海道～九州に分布し、岐阜県では県南中部と西部の低地に分布する。		
減少要因	水辺環境の改修工事、水田の改修工事や乾田化、増水による河道の変化、水質悪化。		
保全対策	開発行為からの生育環境の保全。		
特記事項			
参考文献	角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.		

文責: 清水英彦